コミュニティ・スクールだより

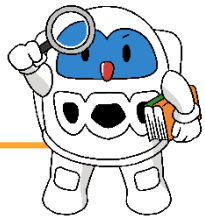
～地域とともにある学校づくり～

発行者 つくば市教育局生涯学習推進課

第3号

令和7年12月発行

コミュニティ・スクールとは、「コミュニティ・スクール協議会」という話合いの場が設置されている学校のことです。協議会では、保護者の代表、地域の代表、教職員など様々な立場の人が学校の課題解決や子供たちの学びに向けて話し合っています。（年3～4回程度実施）



動き出しています　地域学校協働活動

地域学校協働活動とは

コミュニティ・スクール協議会で話し合われた内容（目指す子供像に対してどのような資質を育むのかという目標や方向性）を具現化する活動のことです。各校の校長が推薦し、教育委員会が委嘱する地域学校協働活動推進員（CSコーディネーター）が中心となって、様々な地域学校協働活動を実施します。

茎崎学園

茎崎第二小学校で10月31日（金）に開催された二小祭において、地域住民の方と「地域防災ウォークラリー」を実施しました。地域の方に様々なお話をしてもらうことで、子供たちの地域愛が芽生えました。

高崎学園

高崎中学校では、放課後等の学習支援に地域住民の方々が関わっています。教職員と連携し、参加を希望する生徒一人ひとりの課題に応じた学習を進めています。

大穂学園

大曽根小学校では、「授業見守りボランティア」活動が行われています。見守りボランティアの協力のおかげで、子供たちが集中して、自習に取り組むことができました。

大曽根小
学校ボランティアについてはこちら▶

秀峰筑波義務教育学校

筑波地区防災イベントを1月31日（土）に開催予定です。①防災への関心②住民同士のつながり③多世代交流等の3つを目的とし、地域と学校が協力して企画をしています。

春日フェスタ～春日学園義務教育学校コミュニティ・スクールの挑戦～

● 開催までの経緯

春日学園義務教育学校では、コミュニティ・スクール導入当初から、「春日学園義務教育学校を子供たちの故郷に」というテーマで話合いを進めてきました。コミュニティ・スクール協議会では、児童・生徒会の提案を基に地域や保護者の方々の協力を得ながら、学園全体で丁寧に計画を進めてきました。児童・生徒会も話合いに参加し、地域と連携した「春日フェスタ」を10月25日（土）に開催しました。

コミュニティ・スクール協議会の様子

● 当日の様子

午前中は、つくばスタイル科の授業で学んだ「環境、防災」についての成果を各クラスがブース形式で発表しました。

午後は、PTAが中心となって、防災に関わる講演会やお祭り広場の開催、さらにはパラリンピック選手を招いたゴールボール体験等、多彩な企画を実施しました。

▲春日フェスタ公式HP

● それぞれの想い

学校

春日地区の「地域づくり」を進めていくため、春日フェスタを学校だけではなく、地域の方々、PTA、卒業生など、皆のフェスタにしていきたいと考えています。

地域

子供たちや卒業生にとって、この学校や地域が「ふるさと」になるきっかけになればと思い、「春日フェスタ」を開催しました。

子供たち

生徒だけではできないことも企業や地域の人と関わることにより実現でき、成長できる機会になりました。春日学園の伝統としてこれからも続いていくといいなと思います。

世界のあしたが見えるまち。TSUKUBA

問合せ先

つくば市教育局生涯学習推進課
〒305-8555　つくば市研究学園一丁目１番地１
TEL:029-883-1111（代）内線 4524（8:45～16:30）
MAIL:edc077@city.tsukuba.lg.jp

コミュニティ・スクールだよりのバックナンバーはこちらの二次元コードから御覧いただけます▲